

2022年度中長期計画達成状況評価シート

基本目標		若い世代の県内定着に向けた学生の確保と産学官連携による県内就職の促進				実施組織	第1ワーキンググループ				
取組内容		2023年度KPI	2022年度計画内容			2022年度計画内容に対する実施内容					
<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①県内高校生やその保護者を対象に高等教育機関の魅力を共同発信</p> <p>②近隣県を対象とした学生募集の共同実施</p> <p>③県内高校生への進学情報（オープンキャンパス情報）の一元発信</p> <p>④県内大学への進学状況を分析し高大接続対策へ活用（データ分析、検討会の開催）</p> <p>⑤高校生への共同模擬講義・実習の実施</p>		<p>a.</p> <p>①年10回</p> <p>②年1回</p> <p>③年1回</p> <p>④年1回</p> <p>⑤年1回</p>	<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①アンケート調査に基づく検証作業</p> <p>②共同実施し参加者等へのアンケート調査の実施</p> <p>③アンケート調査に基づく検証作業</p> <p>④新しい高大接続プラン（事業）の実施</p> <p>⑤共同模擬事業の実施と高校生へのアンケート調査</p>			<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①共同のYouTubeチャンネル「とくしま丸ごとキャンパスガイド」にて、参画大学の学部・学科の紹介、学生による大学紹介動画で県内大学の魅力を県内外に発信。（2月20日時点 14本の新規動画を掲載）</p> <p>②「とくしま丸ごとキャンパスガイド」による県内外への魅力発信。（2月20日時点 14本の新規動画を掲載）鳴門教育大学と徳島大学は、「四国地区国立大学連合アドミッションセンター」を構成し、四国5国立大学との緊密な連携のもとで、進学ガイダンスを実施。（年2回）</p> <p>③県内高等教育機関のオープンキャンパス情報を一元化したチラシを作成し県内の高等学校へ配布。（1回）県内高等教育機関のオープンキャンパス情報を一元化した動画を作成し共同のYouTubeチャンネル「とくしま丸ごとキャンパスガイド」へ掲載（1回）徳島県教育委員会のLINEアカウント「Go tomorrow！」にてYouTubeチャンネルの広報を実施（1回）</p> <p>④県内4校の高校3年生800名を対象に、進学意識等の調査（6/1～6/30）を実施（年1回）</p> <p>⑤COC+R共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」を実施済。（年1回）城西高校を対象に、徳島文理大学、四国大学が合同で講義を実施（年3回）</p>					
<p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①長期の課題解決型インターンシップの拡大</p> <p>②産学官が共同企画した新たなインターンシッププログラムの実施</p> <p>③県内産業の魅力を発信する参加校共同授業の実施</p> <p>④地域指向型科目の共同授業化の推進</p> <p>⑤学生と県内企業経営者との交流会の開催</p> <p>⑥県内産業の魅力を伝える学生・保護者対象の就職説明会の共同開催</p> <p>⑦地域人材育成をテーマとしたFDの開催</p>		<p>b.</p> <p>①8高等教育機関</p> <p>②2件</p> <p>③年3科目</p> <p>④1科目</p> <p>⑤年9回</p> <p>⑥年2回</p> <p>⑦年3回</p>	<p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①長期インターンシップの準備</p> <p>②新しいインターンシップの実施</p> <p>③共同授業の実施</p> <p>④共同授業の実施</p> <p>⑤見直し改善後の交流会の実施</p> <p>⑥就職説明会の実施</p> <p>⑦FDの改善に関する検討</p>			<p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①徳島大学において、実践型インターンシップとして、従来の企業等における経営課題型（5社に22人参加）とともに、県内自治体等を受入先とする地域課題型（4機関に16人参加）を新たに開講、四国大学にて6月から3月にかけて「学生×開発プロジェクト」を実施し、4チームが参加。阿南工業高等専門学校にて学生が企業へ申し込み、インターンシップを実施。（8高等教育機関）</p> <p>②徳島大学において、エクスターンシップを継続して開講【受講者：56人（徳島大学：49人、徳島文理大学：7人）、参加企業・団体：28機関】、産学協議会基準に準拠し県内の企業等で5日程度の就業体験を行う新たなインターンシップを開講。さらに、徳島県からの支援により県外の大学に進学した県内出身者の受入枠を設け、UIJインターンシップとして開講【受講者：17人（うち県外大学生：7人）、参加企業・団体：9機関】（年3科目）</p> <p>③共同授業「徳島の魅力・徳島で働く」を、8月18日、19日、22日、23日に対面とオンラインのハイブリッド形式により実施【受講者数：延べ90人（うち9人は他県に進学した県出身の学生等）】、連続公開講座「徳島で観光まちづくりを考える」を11月から1月の間に開講【受講者：50人（徳島大学：50人）】。（2科目）</p> <p>④協定に基づく単位互換科目を33科目とした。（33科目）連続公開講座「徳島で観光まちづくりを考える」を11月から1月の間に開講【受講者：50人（徳島大学：50人）】。（1科目）</p> <p>⑤エクスターンシップによる企業等の経営者・OBと学生のグループ対話や半日の企業等訪問を継続実施。（10回）ロールモデルカフェ（7月19日）、ダイバーシティ講演会（12/9）にて県内企業経営者と交流（2回）第8回学生×開発プロジェクトにて学生が県内の3つの企業（経営者含む）とコラボをし、新商品の開発を行う。（3回）（年15科目）</p> <p>⑥7月29日、1月18日に三好市オンライン合同企業説明会をZOOMにて開催。（2回）12月7日に四国大学にて企業研究会を開催（1回）（年3回）</p> <p>⑦徳島大学において、「FD地域人材育成フェスタ」を3月9日に開催。四国大学が主担当校として、「ICTを活用した次世代遠隔授業について（9月2日）」、「地域貢献活動リスタートフォーラム（2月14日）」を開催。（年3回）</p>					
<p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①留学生共同サポートセンターの設置・運営</p> <p>②国内で実施される留学生向けの進学説明会（留学生募集活動）の共同参加</p> <p>③留学生向けの就職セミナーや企業との交流会など、就職支援の共同実施</p>		<p>c.</p> <p>①2019年整備</p> <p>②年2回</p> <p>③年3回</p>	<p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①改善等の実施</p> <p>②改善策に基づいた実施</p> <p>③実施効果等の検証</p>			<p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会に参加。徳島大学に留学生サポートセンターを設置済み（2019年設置）。留学生の受入環境の整備：県・徳島工業短大・住宅供給公社が連携。「藍住さくら団地」を活用した外国人留学生の居住確保支援を実施。（令和4年度実績：7室）</p> <p>②四国大学と徳島工業短期大学共同で「外国人留学生対象大学見学ツアー」を実施（7月7日、8月5日、9月30日）（年3回）「留学生共同サポートセンターとくしま」による外国人のための進学説明会に徳島大学、鳴門教育大学、四国大学が参加（5月13日、6月10日）。（年3回）</p> <p>③「留学生共同サポートセンターとくしま」において、就職支援セミナー（10月14日、11月11日、1月20日）、県内企業のジョブフェア及び交流会（7月8日）、県内企業インターンシップ（9月21日、22日）を開催。（年6回）</p>					
自己評価	取組施策項目数 (15) 件		2022年度未達成項目数 (0) 件		※ ¹ 取組内容の達成度 (3)	※ ² 年度計画の達成度 (3)					
	取組内容	a.) ①～⑤について実施済み。 b.) ①～⑦について実施済み。 c.) ①～③について実施済み。	年度計画	a.) ①～⑤について、KPIを達成済み。 b.) ①、②、④、⑤、⑥、⑦については、KPIを達成済み。③については、実施内容がKPIの達成までには至らなかった。 c.) ①～③について、KPIを達成済み。							
今後の課題	a.) ④高校生対象のアンケート調査におけるニーズへの対応。 c.) ③各高等教育機関の就職先ニーズが異なる中、各機関独自の就職支援と共同での支援をどう組み合わせるかが課題。		対応課題の	a.)④について、進路を考えるうえで自身の適性を知りたいとの意見が寄せられている。 c.) ③引き続き次年度以降の事業計画等について各大学と意見交換等を実施し、具体的な事業内容を策定する。							
取組に対する根拠資料データ											
<p>a.) ①、②YOUTUBEリンク：https://www.youtube.com/channel/UckK6PIQ70C-OJK_cta6Lwtg ※¹、鳴門教育大学ウェブページ：「学部入学希望の皆さまへ」（学部進学相談会）のURL https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/02/014.html ※² ③『とくしま丸ごとキャンパスガイド』のURL https://www.youtube.com/channel/UckK6PIQ70C-OJK_cta6Lwtg ※² ④県内高校生対象IR調査報告書 ※¹ ⑤城西高校から四国大学への依頼文 ※¹</p> <p>b.) ①シラバス 徳島大学H P内URL：https://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2022&lct_cd=1005305&je_cd=1 ※¹、「FD地域人材育成フェスタ」チラシ ※³ ②シラバス 徳島大学H P内URL：http://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx ※³ ③「徳島の魅力・徳島で働く」チラシ ※³ ④とくしま創生人材・企業共創プログラム事業における単位互換に関する協定書 ※³、令和4年度事業参加校単位互換科目受講生の募集について ※³ ⑤シラバス 徳島大学H P内URL：http://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx ※³、県内起業家講演 & 交流会チラシ ※¹、ジョブセミナー次第 ※¹ ⑥三好市オンライン合同企業説明会チラシ（2022版） ※¹ ⑦「FD地域人材育成フェスタ」チラシ ※³、地域活性化人材育成FD・SDフォーラムの開催案内 ※¹</p> <p>c.) ①運営委員会開催通知・資料 ※²、徳島大学インターナショナルオフィスH P内「留学生共同サポートセンターとくしま」のURL：https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/tokushima_collaborative_support/ ※² ②事業チラシ ※¹ ③事業チラシ、開催案内など ※¹、徳島大学インターナショナルオフィス「留学生のための就職支援」のURL：https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/career_support/ ※³</p>					資料保管責任者						
					所属 ※ ¹ 四国大学、※ ² 鳴門教育大学、※ ³ 徳島大学						
					氏名 ※ ¹ 吉田、※ ² 日野、※ ² 平井、※ ³ 橋川、※ ³ 大村						
ワーキンググループ開催回数 (8) 回/年											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		第1回 6月20日(月)			第2回 9月5日(月)	第3回 10月19日(水)	第4回 11月2日(水)	第5回 12月7日(水)	第6回 1月4日(水)	第7回 2月1日(水)	第8回 3月1日(水)

※¹※² 達成度（4段階）：4（計画を上回って実施）、3（計画通り実施）、2（計画を下回って実施）、1（未実施）

2022年度中長期計画達成状況評価シート

基本目標	地域産業の活性化と地域課題解決への貢献	実施組織	第2ワーキンググループ	
取組内容		2023年度KPI	2022年度計画内容	2022年度計画内容に対する実施内容
a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み ①光関連産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施 ②ものづくり産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施 ③農林水産業の6次産業化の推進 ④産学官連携による阿波藍の魅力創造発信の推進 ⑤インダストリー4.0に対応した、AI、IoT、ロボット等の実装の支援		a. ①3件 ②73件 ③57件 ④年11回 ⑤7件	a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み ①共同研究等の実施状況の検証 ②共同研究等の実施状況の検証 ③6次産業化に向けた具体的な取り組み ④新しい取り組みの実施 ⑤具体の取り組みの実施	a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み ①新たに四国大学と徳島工業短期大学が研究を開始し、4高等教育機関で実施した。(35件実施) ②各高等教育機関により共同研究を実施した。(51件実施) ③各高等教育機関等において6次産業化に向けた取り組みを実施した。(31件実施) ④阿波藍の魅力を発信するとともに、新たな取り組みを実施した。(8回実施) ⑤徳島大学および徳島文理大学、四国大学により実装支援の講座を実施した。(7件実施)
b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み ①市町村との共同研究・共同事業の推進 ②県との連携事業の推進 ③県民の生活習慣改善や心身の健全を支援する健康改善プログラムの実施 ④大学と県が連携して実施しているボランティアパスポート事業の拡充 ⑤共同での地域の課題解決フィールドワークの実施 ⑥地域課題解決の取組に必要な専門教員の共同人材バンク設置		b. ①15件 ②130件 ③3プログラム ④5高等教育機関 ⑤3テーマ ⑥2020年設置	b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み ①共同研究等の実施 ②新たな連携事業の実施 ③健康改善プログラムの実施 ④ボランティアパスポート事業の拡充実施 ⑤課題解決型フィールドワークの実施 ⑥人材バンクの運営	b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み ①各高等教育機関において市町村との共同研究・共同事業を実施した。(22件実施) ②県と高等教育機関において連携事業に取り組むとともに、新たな連携事業を実施した。(新規連携事業8件を含む139件実施) ③各高等教育機関において健康改善プログラムを実施した。(17プログラム実施) ④2020年度から四国大学・四国大学短期大学部に拡充して実施している。(5高等教育機関 延べ188名参加) ⑤地域の課題解決を目的としたフィールドワークを実施。(9テーマ実施) ⑥2020年度から8高等教育機関から専門教員の情報を集約し、徳島県立総合高等学校「まなびーあ徳島」のホームページ上において、「地域課題解決共同人材バンク」を設置、運営している。
c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み ①学生が災害発生時にボランティア活動等を円滑に行える体制の整備 ②自治体が開催する災害関係の会議への参画 ③大学版BCPの作成の推進 ④共同での防災講座の実施		c. ①2019年整備 ②8高等教育機関 ③8高等教育機関 ④3講座	c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み ①訓練の実施 ②自治体の災害会議への参加・加盟組織への周知 ③必要に応じた支援の実施 ④防災講座の実施	c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み ①徳島県総合防災訓練、徳島県国民保護訓練への参加を含むボランティア講座を4回実施し、3高等教育機関から延べ65名が参加した。 ②自治体の災害関係の会議に7高等教育機関が参加し、加盟組織に周知した。(7高等教育機関) ③新型コロナウイルス感染症対策など全ての高等教育機関でBCPを作成した。(8高等教育機関) ④徳島大学および徳島文理大学、阿南工業高等専門学校で防災講座を実施した。(7講座)

自己評価	取組施策項目数	(15) 件	2022年度未達成項目数	(0) 件	※ ¹ 取組内容の達成度	(3)	※ ² 年度計画の達成度	(3)
	取組内容	a.)①～⑤について実施済み。 b.)①～⑥について実施済み。 c.)①～④について実施済み。				年度計画	a.)①新規事業を含み計画を大幅に上回り実施。②概ね計画通り実施。③各高等教育機関が取り組み、昨年度実績9件から大幅な増加となった。④おおむね計画通り実施。⑤本年度から新たに徳島文理大学、四国大学が実施したことにより計画通り実施。 b.)①それぞれの高等教育機関の共同研究・事業企画によりおおむね計画通り実施。②新規事業を含み計画を上回り実施。③昨年度からの新規プログラムなどを含み計画を上回り実施。④四国大学・四国大学短期大学部が昨年度加わりKPIの達成となった。⑤コロナ禍であったが、新たな事業打ち合わせを行うなど概ね計画通り実施。⑥2020年9月に設置、運営。 c.)①2019年度整備済み。3教育機関の学生参加により訓練を実施。②概ね計画通り参画している。③全ての高等教育機関でBCPを作成。④防災に関する公開講座等を実施。	
今後の課題	a.)③6次産業化は2021年度の9件から大幅に増加したが、達成のためさらなる推進が必要である。 b.)なし c.)②1高等教育機関で災害会議への参加ができていない。				対課題策の	a.)③2022年度末に徳島県もうかるブランド推進課を講師として第2WGに招聘し勉強会を開くなど取り組み強化に努めており、さらなる推進を図る。 b.)なし c.)②参加への周知を徹底する。		

取組に対する根拠資料データ

○【集計データ】PF第2WG 2021年度の取組調査について(調査項目・回答様式)	資料保管責任者
a.④四国大学HP ⑤徳島大学HP・令和3年度地域産業人材育成講座パンフレット	所属 徳島文理大学地域連携センター 氏名 藤巻 晃
b.①四国大学HP、阿南工業高等専門学校HP ②徳島県・高等教育機関連絡会議資料③徳島文理大学HP、四国大学HP ④ボランティアパスポート実施状況まとめ⑤徳島県立総合高等学校「まなびーあ徳島」HP	
c.①学生災害ネットワーク登録者一覧②徳島県調査まとめ③各機関HP等④徳島県地域防災推進員(防災士)養成研修実施要項、徳島文理大学地域連携センターHP	

ワーキンググループ開催回数 (5) 回/年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		第1回 6月28日(火)				第2回 10月26日(水)			第3回 1月25日(水)		第4回 3月10日(金)(メール審議) 第5回 3月20日(月)

※¹※² 達成度(4段階) : 4(計画を上回って実施)、3(計画通り実施)、2(計画を下回って実施)、1(未実施)

2022年度中長期計画達成状況評価シート

基本目標		次代を担う人材の育成と多様な学び直しの機会の創出				実施組織		第3ワーキンググループ			
取組内容		2023年度KPI		2022年度計画内容				2022年度計画内容に対する実施内容			
<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①T-SPOD会議など共同のFD・SD研修会の開催</p> <p>②プラットフォーム事業に関連する共同IRの実施</p> <p>③各高等教育機関等が有するサテライトオフィスの共同利用の推進</p> <p>④新たな単位互換や共同授業化の推進</p> <p>⑤施設の共同利用の推進</p> <p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①小・中・高校生向けの科学技術人材を養成する体験講座の実施</p> <p>②小・中・高校生向けの学習支援事業（大学の施設、設備を活用した事業）</p> <p>③小・中・高校生を対象としたキャリア形成支援の実施（出前授業の実施等）</p> <p>④共同での地域の課題解決フィールドワークの実施（再掲）</p> <p>⑤長期の課題解決型インターンシップの拡大（再掲）</p> <p>⑥地域人材育成をテーマとしたFDの開催（再掲）</p> <p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①県民ニーズに対応した生涯学習に係る新しい公開講座の充実</p> <p>②産業界のニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供</p> <p>③教育訓練給付金制度を活用したリカレントプログラムの充実</p> <p>④リカレント教育情報の一元的発信</p>		<p>a.</p> <p>①3回</p> <p>②推進</p> <p>③推進</p> <p>④3科目</p> <p>⑤推進</p> <p>b.</p> <p>①6講座</p> <p>②30講座</p> <p>③170回</p> <p>④3テーマ</p> <p>⑤8高等教育機関</p> <p>⑥年3回</p> <p>c.</p> <p>①40講座</p> <p>②20プログラム以上</p> <p>③4プログラム</p> <p>④2019HP開設</p>		<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①共同FD・SD研修会の実施</p> <p>②共同IRの実施</p> <p>③共同利用の実施</p> <p>④新しい単位互換制度の実施</p> <p>⑤施設の共同利用の実施</p> <p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①新しい講座の実施</p> <p>②新しい学習支援授業の実施</p> <p>③アンケート調査結果の分析と新しい出前授業の在り方の検討</p> <p>④課題解決フィールドワークの実施</p> <p>⑤長期インターンシップの準備</p> <p>⑥FDの改善に関する検討</p> <p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①新しい講座の実施</p> <p>②新プログラムの実施</p> <p>③新リカレントプログラムの実施</p> <p>④「とくしまリカレント教育支援センター（仮称）」を開設し、リカレント教育に関する情報を集約し、徳島県立総合高等学校HPにおいて情報を発信。</p>				<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①T-SPOD会議を全5回開催、T-SPODフォーラムを3日間開催(6回)</p> <p>②共同IRの実施方法をWGで検討し、県内高校4高の3年生約800名とプラットフォーム参画大学8校の卒業年次の学生を対象にIR調査を実施(2回)</p> <p>③徳島大学神山学舎、四国大学西部地区サテライトオフィスを複数大学共同でのFWの拠点として利用。マツシゲートにてワークショップを開催。(3回)</p> <p>④コンソーシアムとくしまにおいて参画大学間で新しい単位互換を実施(7科目)</p> <p>⑤参加校間で共同利用できる配信用設備を購入し利用開始。四国大学にて徳島大学の職員、四国大学の職員が共同で機器センターを利用。</p> <p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①WGにおいて実施する講座の内容等の検討を行い「とくしま科学技術アカデミーsociety5.0体感事業」を実施。(四国大学、徳島大学、徳島文理大学、徳島工業短期大学、阿南工業高等専門学校で各1講座実施。) 鳴門教育大学主催で「ジュニアドクター発掘・養成講座」を開催(6講座)</p> <p>②コロナ禍において小中高との接続を円滑に行うための検討がなされた。各高等教育機関において大学の施設・設備を活用した学習支援事業の提供。(内訳：四国大学2回、徳島大学1回、徳島文理大学2回、徳島工業短期大学1回、阿南工業高等専門学校6回)(31講座)</p> <p>③高校IR調査の分析をもとに来年度の計画を考案。四国大学と徳島文理大学で共同で大学の魅力を伝える説明会を3日間にわたり実施。出張講義プログラム(出前授業等)(内訳：四国大学60回、徳島大学27回、徳島文理大学23回、鳴門教育大学4回、徳島県13回、徳島工業短期大学48回、阿南工業高等専門学校5回)(180回)</p> <p>④地域の課題解決を目的としたフィールドワークを実施。(9テーマ実施)</p> <p>⑤徳島大学において、実践型インターンシップとして、従来の企業等における経営課題型(5社に22人参加)とともに、県内自治体等を受先とする地域課題型(4機関に16人参加)を新たに開講、四国大学にて6月から3月にかけて「学生×開発プロジェクト」を実施し、4チームが参加。阿南工業高等専門学校にて学生が企業へ申し込み、インターンシップを実施。徳島大学にて経営課題解決型、地域課題型のインターンシップを実施。(8高等教育機関)</p> <p>⑥徳島大学において、「FD地域人材育成フェスタ」を3月9日に開催。四国大学が担当校として、「ICTを活用した次世代遠隔授業について(9月2日)」、「地域貢献活動リスタートフォーラム(2月14日)」を開催。(3回)</p> <p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①四国大学にて「オンライントーク番組」や「暮らしの税情報」など新規の公開講座を25講座追加。四国大学にて光関連の講座を5講座実施。(内訳：四国大学30講座、徳島大学11講座(次世代光講座)、徳島文理大学4講座)(45講座)</p> <p>②四国大学と徳島県中小企業団体中央会が連携して作成した産業界のニーズに対応したプログラム等を実施。(内訳：四国大学2講座、徳島大学2講座、徳島文理大学1講座、徳島県13講座(とくしま経営塾「平成長久館」)、阿南工業高等専門学校3講座、徳島工業短期大学1講座)(22回)</p> <p>③四国大学、徳島文理大学、徳島工業短期大学にて教育訓練給付金を活用。(内訳：四国大学2プログラム、徳島文理大学1プログラム、徳島工業短期大学1プログラム)(4プログラム)</p> <p>④徳島県が開設している「とくしまリカレント教育支援センター」にて、リカレント情報を発信。また、徳島県にて中小企業経営者、従業員に対してリカレントニーズに関する調査をアンケート形式で実施し、関係機関へ結果を共有。(有効回答数：48社150件)</p>			
自己評価	取組施策項目数 (15) 件		2022年度未達成項目数 0 件		※ ¹ 取組内容の達成度 (3)		※ ² 年度計画の達成度 (3)				
	取組内容	a.) ①～⑤について実施済み。 b.) ①～⑥について実施済み。 c.) ①～④について実施済み。		年度計画	a.)①～⑤について計画どおり実施 b.)①～⑥について計画どおり実施 c.)①～④について計画どおり実施						
今後の課題	a.) ③サテライトオフィスの共同利用について、自治体等のステークホルダーも交えた共同利用の仕組みの検討 b.) ①小中高のニーズを捉えたプログラムの開発と回数の拡大。				対応課題の	a.) ③各校のサテライトオフィスを設置する自治体との協議を行う b.) ①高校の進学担当・就職担当との連携企画の推進					
取組に対する根拠資料データ											
a.①令和4年度SPOD加盟校内プログラム一覧、②県内高校生対象IR調査報告書、県内大学・高専生対象IR調査報告書、③チラシ各種、④令和4年度COC+R単位互換科目一覧、⑤第15回WG資料購入機材詳細表 b.①Society5.0体感事業チラシ各種、②合同説明会、大学訪問依頼書、③出張講義依頼書、④神山町地域課題解決型FW企画書、美馬市観光商品体験セミナーチラシ、⑤学生×開発プロジェクトチラシ、徳島大学実践力養成型インターンシップチラシ、⑥地域活性化人材育成FD・SDフォーラム保存記録、FD地域人材育成フェスタチラシ c.①四国大学令和4年度公開講座プログラム、徳島大学次世代光講座チラシ、②オンラインワン補助事業企画書、③四国大学HP、④とくしまリカレント教育支援センターHP										資料保管責任者	
										所属	四国大学
										氏名	吉田 寛夫
ワーキンググループ開催回数 (7) 回/年											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回4月21日(木)		第2回6月29日(水)		第3回8月3日(水)		第4回10月6日(木)	第5回11月17日(木)		第6回1月20日(金)		第7回3月15日(水)

※¹※² 達成度(4段階)：4(計画を上回って実施)、3(計画通り実施)、2(計画を下回って実施)、1(未実施)